

《くらさんの目を通して見たちょっと気になるニュース》

東日本大震災・・・どこまで広がる？原発避難区域！

緊急取材に応じてくれた南相馬市の避難民にはさらに厳しいニュースがもたらされた。政府は4月22日午前0時から福島第一原発20km圏内を警戒区域に指定すると発表したのだ。今後、この地域に立ち入ることができなくなる。違反すると罰金が科せられ、拘留されることもある。放射性物質による被害を避けるための措置だが、住民にとってはにわかには受け入れがたい話だ。「念のため」と枝野官房長官が発表した避難勧告がとうとう罰則をとまなう命令になってしまったのだから。住民は「放射能の危険について数値を示したうえで具体的に説明せよ。」と言う。もっともな意見だ。後から後から指示命令を小出しにするやり方は住民の神経を逆なでしている。



我が家の計画停電

3月18日午後7時、夕食の準備をしていた我が家が闇に包まれた。難を避けようとした息子夫婦と孫も我が家でこの瞬間を待っていた。家族で出し合ったありったけのろうソクに灯をともしたら、蛍光灯の灯りよりも豪華に感じられた。テレビの音のない中で静かに食事を済ませた後、息子が孫に携帯電話でゲームをやってみせた。孫の頬がろうソクの灯りを受けてオレンジ色に光った。

津波で多くの犠牲者を出した東北太平洋沿岸地域や、原発事故の影響で避難を強いられている福島県民の苦しみや不便に比べれば群馬県内の生活は恵まれている。せめて電気や日用品を節約することで被災者の生活に思いを馳せたい。

